

届け 世界の果てまでも

令和2年11月30日

No. 50

文責 校長 飯久保一男

夢中になれるものとの出会い

人気の漫画『ONE PIECE』の作者、尾田栄一郎さんの言葉です。

中学の写生大会で、写真みたいな絵をかくて大満足だった。
特選になるのが当たり前だと思ったが、入選だった。
特選になった絵は、中学生らしい元気いっぱいの絵だった。

(わかりやすくするために一部変更してあります)



例えば、走力のある人とない人が競争をしたら、多くの場合、走力のある人が勝ちます。能力（技能）が高いの方が上位に行くことは世の常です。しかし、私は、図工・美術の世界はちょっと違うと思っています。絵をかく技能の高い人の絵が必ずしも人を感動させる絵になるかということそうならないこともあるのです。

※それもこれも含めて技能が高いことであるともいえるのですが…

私は絵をかくおもしろさが、そこにあると思っています。特に小学生段階では、苦手だと思っている子の絵が、魅力をもった絵・思いのよく伝わる絵になることも多くあるのです。小学生に絵をかかせると、偶然による絵の輝き、偶然による色や形のおもしろさなどが生まれることが多くあります。小学生に指導していると、今度はどの子がそういう絵をかいてくれるのかワクワクします。

こう書くと、絵をかくのに「知識」「技能」が必要ないように受け取られそうですが、もちろん、絵をかくのにも「知識」や「技能」は必要です。9月から何回か5年生の図工の授業をさせてもらいました。その中では、「形や色についての知識」「人をかく技能」「絵の具でかく技能」を指導しました。指導したことを簡単にまとめますと、次の2つの「知識」と「技能」です。

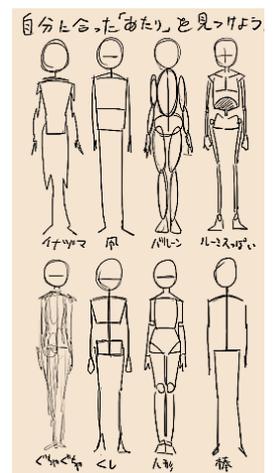
1 形についての基本知識とかくための技能

○よく見てかくこと（自転車はどんな形をしているか）

はじめにあえて自転車を見ないでかいてもらい、どうなっているか見ないとかけないと思わせることで、より細かいところまで見たり、どこがどうつながっているかをよく見たりしてかくことにつなげました。

○形のバランスをとること（人はどんな形をしているか）

人は多くの場合、6頭身であり、「あたり（右図）」をつけてかくことで、バランスを崩さずにかけることを指導しました。また、人の目は顔のどの位置にあるか？ 鼻の長さはどのくらいか？ 口の位置は？ 首の太さは？ など、細かいところも一緒に考え、指導しました。



2 色についての基本知識と色のつくり方、色でかく技能

色をどう見て、どうとらえるかということや、色のつくり方、パレットの使い方などの知識や技能を指導しました。模範の作品（…ん？）として、私が作成した下がきに、5年生の前で実際に絵の具を使って着色をして、絵の具でかく技能も指導しました。いきなり顔や髪の毛を緑系の色でかき始め、インパクトのあるかき方をしてみました。以前もこの紙面に書きました「絵の具会社の色を信じないこと」（語弊があります）などを伝えながら、絵の具の使い方も指導しました。

…この指導の様子は、本校ホームページ【学校のひろば】 → ★日々のようす★ → 10月22日に掲載してあります。

尾田さんの言うように、写真のような絵をかいても評価を得られないこともあります。しかし、特選になれなかった尾田さんは、それでも大満足をしています。私は、子どもが作品を持ち帰ったときに、家の方々がそれを見て「いいねえ」とか「へえ〜」などと言ってもらえたら、それが最高だと思っています。子どもたち自身が「今までかいた絵の中で一番の絵がかけた！」と思ってくれたら何よりです。



私も絵をかくことが好きです。あれこれある「しがらみ」にジャマをされずに絵をかけたなら、時間の経つのを忘れ、夢中になってかくと思います。寝る間を惜しんで絵をかくと思います。楽しくってしょうがなくなると思います。退職したあと、そんな生活ができたらいいなあと淡い期待をもっていますが…。

…もちろん知識や技能は努力して学びました。大学時代は、たくさんの作品の提出に追われ、夜な夜な必死になって制作をしました…
…前号掲載のイラストは、責任を感じ、構想に時間をかけ、かき始めるまで時間がかかりましたが、かき出したら楽しくて楽しくて…

今、子どもたちには、夢中になれるものはあるでしょうか？ すでにあるという子もいるとは思いますが、今後、夢とともに変わっていく可能性が大きいと思われます。そして多くの子は、これからの学習や経験の中で新たなものに出会い、自分の興味や関心のあるものなどを見つけていくのだと思います。その中から、自分が夢中になれるものに出会ってほしいと思っています。**その可能性を広げていくために、国語の学習も必要ですし、算数の学習も必要ですし、社会科、理科、外国語科…、それぞれの教科の「知識」や「技能」が必要なのです。**小学校の6年間はそのためであり、中学校の3年間もそのためにあるともいえると思います。これからの学習の中で、夢中になれるもの、生涯つきあえるものとの素晴らしい出会いがあることを願っています。

わだばゴッホになる

鍛冶屋の息子は 相槌の火花を散らしながら わだばゴッホになる
裁判所の給仕をやり 貉の仲間と徒党を組んで わだばゴッホになる とわめいた
ゴッホになろうとして上京した貧乏青年はしかし
ゴッホにはならず 世界の *Munakata* になった
古稀の彼は つないだ和紙で鉢巻きをし
板にすれすれ獨眼の そして近視の眼鏡をぎらつかせ 彫る
棟方志昂※を彫りつける ※「志昂」は原文のまま

草野 心平

草野心平 …詩人。蛙の詩人とされる。以前は3年国語の教科書に『春のうた』が掲載されていた。福島県出身。

棟方志功 …版画家。20世紀の美術を代表する世界的巨匠の一人。青森県出身。

棟方志功は少年時代にゴッホの絵画に出会い、感動し、「ゴッホになる」と芸術家を目指した。

※友人たちとの会話で「お前は何になりたいか」の問いに「ゴッホになる」と答えたという逸話が残っている。「絵かきになりたい」という意味で言っていて、ゴッホとは個人ではなく画家という意味と思っていたという説もある。

寝ても覚めても、夢中に板画のことばかりでいっぱいでした。
そのころは、名ある版画家も、カフェや料理屋のマッチ
または年賀状などなどの仕事をつくらせていました。
こんなことでは駄目だと私は思っていました。
金になる、ならないを超えた、仕業位性の高い
日本の板画をつくらなければならないと思いました。



棟方 志功

棟方志功は大変な近視のため眼鏡が板につく程に顔を近づけ、軍艦マーチや第九を口ずさみながら版画を彫った。

板画 …棟方志功は版画を「板画」と称し、木版画の特徴を生かした作品を一貫してつくり続けた。